

# 報告

## 平成26年度勤務医部会活動報告

常任理事・医療関連事業部長 藤井 美穂

北海道医師会勤務医部会では、平成24年度に提案された地域医療の現況調査について運営委員会にて検討した結果、北海道の地域医療において勤務医が抱える多くの問題の中から、平成25年度は医療機関に対する不当クレームと暴力行為ならびに時間外の救急体制の現状と各医療機関の取り組みの把握について調査を行い、その結果は飯塚桂司先生（市立釧路総合病院）が、平成25年度勤務医部会全体会議ならびに本誌第1146号（平成26年3月1日）にて中間報告を行った。

また、医療機関に対する不当クレームや暴力行為から医療者と他の患者を守るため、院内に掲示する「暴力追放宣言ポスター」を作成し、北海道内の医療機関に平成26年6月に送付した。

ポスターは、院内暴力、迷惑行為を許さないことを宣言し、覚せい剤などの危険物の病院持ち込み行為の禁止、警察に通報することの脅し文句や診療の中止などの処置をとることの予告など、病院の意図を明確にしたものの3種類である。



「暴力追放宣言ポスター」

平成26年度は診療科の偏在、女性医師の地域医療への貢献度、医師の高齢化について調査を実施し、運営委員会にて検討を重ねてきた。

平成26年7月に実施した調査の結果は、平成26年12月7日（日）に開催した本年度の勤務医部会全体会議で報告した。

この2回の調査結果を併せて、「勤務医の過重労働を改善するために」をテーマに報告書を取りまとめた。調査結果は予想どおりのものもあったが、新医師臨床研修制度前後の医師の動き、地域からの医師の引き上げによる地域医療の実態など、予想を遥かに超える驚くべき結果もあった。報告書の構成を結果から解決へつながるように、前半に現状分析、後半に解決への課題としてまとめている。

また、本書が報告にとどまらず解決へのアクションとしていくために、問題点を総括して道内の病院に対して「提言」としてまとめ提案することとし、全体会議において採択した。

本提言を実現していくため、私たち医師はもちろんのこと、行政、地域住民へ働きかけ解決に近づいていきたい。

### 北海道の勤務医の勤務環境改善のための提言

今日、地域の病院においては医師の確保が困難を極め、特に救急を担当する勤務医が極度に疲弊している現状にあり、診療時間外の医療体制やモンスターペイシェントなどに代表される患者の権利意識の増大によるクレイマー患者への対応、勤務医の立ち去りの回避など、解決すべき課題は山積している。

そのため、北海道医師会勤務医部会では、北海道の地域医療において勤務医が抱える多くの問題の中から、医療機関に対する不当クレームと暴力行為ならびに時間外の救急体制の現状と各医療機関の取り組みの把握、診療科の偏在、女性医師の地域医療への貢献度、医師の高齢化について、平成25年度と26年度の2回に分けて地域医療の現況調査を実施し、検討を重ねてきた。

この度、勤務医の過重労働を改善するために、医療機関に対し次のとおり提言する。

1. 日常および夜間診療に対する不当クレームや院内暴力行為への対応
  - ・医療機関は、不当クレームや院内暴力行為に対して、院内暴力対策マニュアルを作成する。
  - ・医療機関は、暴力追放宣言ポスターの院内掲示や監視カメラの設置、警察との連携、ブラックリストの作成に努める。
2. 地域・診療科の偏在ならびに医師の高齢化への対応
  - ・医療機関ならびに北海道医師会は、関連法規の整備、実効ある施策等により早急に解決を図るよう、関係行政機関に対して強く要請する。
  - ・医療機関ならびに北海道医師会は、新たな専門医制度や地域での教育実習体制、地域枠制度を通して地域医療の充実を図るよう関係行政機関に対し働きかける。
3. 出産・育児・介護等を担う医師の仕事と家庭の両立支援体制への対応
  - ・管理者・上司・同僚等は、出産・育児・介護等に理解・協力し、勤務環境の改善に積極的に努める。

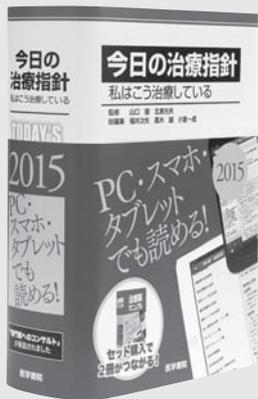
平成26年12月7日 北海道医師会勤務医部会



北海道医師会勤務医部会報告書「勤務医の過重労働を改善するために」は、道内医療機関、郡市医師会などに配布し、当会ホームページにも掲載するので、是非ご一読いただきたい。

毎年全面新訂。信頼と実績の治療年鑑

好評  
発売中



# 今日の治療指針 TODAY'S THERAPY 2015

私はこちら治療している

監修 山口 徹・北原光夫 総編集 福井次矢・高木 誠・小室一成

### 2015年版の特長

- 専門外の疾患の診察に役立つ見出し「専門医へのコンサルト」を新設
- 主要疾患約250項目に、治療法を要約した見出し「治療のポイント」を掲載

### 本書の特長

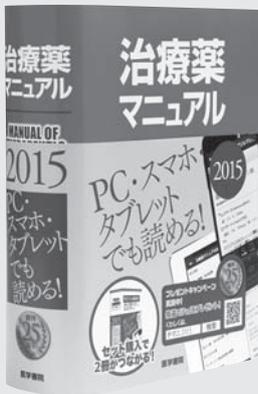
- 日常臨床で遭遇するほぼすべての疾患・病態に対する治療法が、この1冊に
- 大好評の付録「診療ガイドライン」：診療ガイドラインのエッセンスと利用上の注意点を簡潔に解説

● デスク判(B5) 頁1950 定価：本体19,000円+税  
[ISBN978-4-260-02039-8]

● ポケット判(B6) 頁1950 定価：本体15,000円+税  
[ISBN978-4-260-02040-4]

治療薬情報を余すことなくポケットに!

好評  
発売中



# 治療薬マニュアル2015

監修 高久史磨・矢崎義雄 編集 北原光夫・上野文昭・越前宏俊

収録薬剤数は約2,200成分・16,000品目。2014年に収載された新薬を含む、ほぼすべての医薬品について、添付文書に記載された情報を分かりやすく整理し、各領域の専門医による臨床解説を加えた。添付文書情報は、化学構造式も含めほぼ全文を収載。医薬品に関するレファレンスブックとして、医師・薬剤師・看護師・その他医療専門職必携の一冊。

● B6 頁2600 2015年 定価：本体5,000円+税  
[ISBN978-4-260-02045-9]

創刊 25周年  
プレゼントキャンペーン実施中!  
抽選でiPadをプレゼント!  
くわしくは

✓ 両書籍とも  
購入特典・電子版付

✓ セット購入により、  
アプリ上で2冊がリンク

「今日の治療指針」に掲載された薬剤の詳細情報を、「治療薬マニュアル」へのリンクで瞬時に参照できます。

- ※ 電子版は、本書を購入された方が無料で利用できるサービスです。電子版単体のお申し込み・ご購入はできません。
- ※ 閲覧期間は2016年1月までとなります。
- ※ 2015年1月からご覧いただけるデータは、両書籍とも2014年版のもので、2015年版のデータをご覧いただけるようになるのは、2015年春を予定しております。
- ※ 推奨Webブラウザ：Internet Explorer9以降、Chrome35以降、Firefox30以降、Safari6以降



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
[販売部] TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804  
E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら

